

跡施設ごとの施設配置イメージを
含めて、横浜市から新たな提案が
なされました

7月は地域の行事等が重なり、検討委員会が開催できなかったため、8月9日に行政提案小委員会を開催しました。その場において、前回委員会（6月29日開催）で保留事項となっていた「旧若葉台東小の地域利用可能スペース」と、「跡施設ごとの施設配置イメージ」が横浜市より提示されるとともに、「横浜開港150周年記念イベントに関連する暫定利用」についての新たな提案がなされました。

これらについては、地域側だけで行政提案小委員会を中心とする委員による検討を重ねた上で、第9回検討委員会において、改めて提案を聴き、意見交換を行いました。



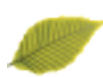
第9回検討委員会の概要

- 日時：8月31日（金）
場所：若葉台地域ケアプラザ
議題：1 委員長あいさつ
2 第8回検討委員会議事内容について
3 特別支援学校の整備イメージについて
4 3校配置イメージについて
5 小委員会の検討状況について

「跡施設ごとの施設配置イメージ」

(行政運営調整局による提案)

	コンセプト	コア施設	付帯施設
旧若葉台東小学校	「教育・福祉」	○校舎・体育館・グラウンド <u>横浜市立特別支援学校</u>	○校舎 ・コミュニティハウス、市民図書室（継続） ・地域防災拠点（継続） ・民具保管展示（西小から移転） ・防犯・防災活動拠点 ・福祉ボランティア拠点 ○体育館・グラウンド ・地域防災拠点（継続） ・学校開放
旧若葉台西小学校	「教育・文化」「子ども」「高齢者」 の分野における地域課題を踏まえ地域に貢献する事業を展開しながら、今後の若葉台地区の魅力を高めることができる民間事業者及び事業提案を公募します	<u>公募事業で決定</u> <コア施設例> ・民間病院 ・私立学校	<u>公募事業で決定</u> <付帯施設例> ・学習情報館 ・音楽ホール（多目的ホール） ・多目的利用研修室 ・子ども支援センター（児童館）、集いの場 ・高齢者向け福祉・保健サービス施設（憩いの場、喫茶室、交流の場等） ・ホテルの舞う里
旧若葉台西中学校	「スポーツ・文化」	○校舎 <u>文化・芸術の分野における市民活動の拠点</u> <暫定利用> <u>横浜開港150周年記念イベント関連事業での利用</u> （ヒルサイドステージワークショップ会場） ○体育館・グラウンド <u>総合型地域スポーツクラブ</u>	・地域防災拠点（西小から移転）



開港150周年記念イベント「ヒルサイドステージ」と旧若葉台西中学校の暫定利用について

((財) 横浜開港150周年協会による提案)

2009年、横浜は開港150周年を迎えますが、市の臨港部では「港」や「歴史」をテーマとした記念イベント「ベイサイドステージ」をみなとみらい地区や大さん橋などのエリアを中心に開催します。また、ゾーラシア未整備地区を会場とした「ヒルサイドステージ」を「自然・環境」「共生」などの4つをテーマに、企画から準備、運営まで市民のみなさんとの協働によって開催します。

市民参加事業であるヒルサイドステージは、公募により集まった市民が会議・研修（ワークショップ）を行いながら制作していくもので、その会議・研修（ワークショップ）の会場として、旧若葉台西中の校舎を暫定的に利用したいと考えております。

■ヒルサイドステージの概要

- テーマ：「自然・環境」「地域」「共生」「市民との協働による制作・運営」
- 到達目標：持続可能な環境行動市民を創出し、魅力あふれる横浜の構築へ寄与する
- 開催期間：2009年7月4日～9月27日を予定
- 会場：横浜動物の森公園（ゾーラシア未整備地区・アフリカサバンナゾーン予定地など）

■暫定利用のイメージ

(1) 利用イメージ（回数や内容は想定です）

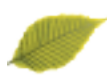
- | | |
|--------------|--|
| 2007年11月～12月 | ・利用準備 |
| 2008年1月～5月 | ・事業（プロジェクト）概要づくり全体会議・研修（ワークショップ）（全8回程度） |
| 2008年夏～会期直前 | ・内容の具体化に向けた会議・研修（全8回程度）
・各プロジェクトごとの ①打合せの場、②発表内容の制作の場、③事前イベントの事前研修の場、としての利用が高まる |
| 2009年7月～ | ・引き続き各事業ごとの利用（事前研修としての利用がさらに高まる） |
| 2009年9月 | ・会期終了に近づき利用収束 |

(2) 使用時間について

- ・休日や平日夜間を中心に、会議・研修（ワークショップ）開催あるいは市民事業（プロジェクト）の活動拠点となるのが有力です。（参加市民の多くが会社員や学生であると想定しています）
- ・平日の夜については、使用開始時間は夜8時以降となると思われます。なお、夜間の利用については原則として夜10時までの利用を考えています。実際の利用にあたっては、ご意見を伺いながらルールを定めていきます。

(3) 旧若葉台西中校舎活用のメリット

- ・継続的に同一の場所で大規模な会議・研修（ワークショップ）等を行うことができるという面で、以下の効果が期待できます。
- ・ヒルサイドステージ会場となるゾーラシア未整備地区に比較的近く、本番にむけての盛り上がり期待できます。
- ・一定の場所で多数の市民が同時に会議・研修（ワークショップ）を行うことを通じて、若葉台地域も含めた市民の横のつながりが期待できます。
- ・一定の場所で多数の市民が同時に会議・研修（ワークショップ）を行うこと自体が発信力をもつこととなり、若葉台地域とヒルサイドステージ（市民参加事業）をPRできます。



旧若葉台西小学校における公募事業の実施について

(行政運営調整局による提案)

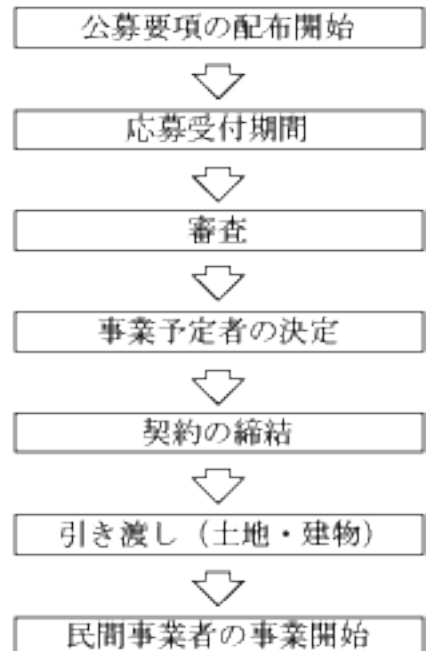
■基本的な考え方

用途廃止となった公共施設（土地・建物）を有効に活用する一つの手法として、民間事業者の力を活かして施設の整備・活用を図る手法があります。地域におけるサービス需要や課題を踏まえた上で、公募の条件を付し、施設の有効な活用方法について民間事業者の提案を募集するもので、施設については、民間事業者に売却または有償貸付等を行います。

公募事業においては、事業提案型のコンペを行い、横浜市が設置する有識者等で構成する「審査委員会」で提案内容を審査した上で、事業予定者を決定する予定です。

今回実施する公募事業では、民間事業者が旧若葉台西小学校を活用して、地域の課題等を踏まえた施設を整備し、その施設を使って地域に貢献する事業を実施することを公募条件とし、今後の若葉台地区の魅力を高めるような事業提案を募集することを目的としています。

■公募事業の手順（一般例）



行政提案に対する検討委員会の意見

■跡施設ごとの施設配置イメージについて

<旧若葉台東小>

○地域利用可能スペースとして示された1階の「地域活動施設」部分の広さが約630㎡では、地域が利用したい内容を全て配置するにはやや狭い。提示されている範囲にすでにコミュニティハウスとして地域利用を行っている部分も含まれていることから、隣接する旧図書室、保健室、放送室まで広げていただきたい。

○付帯施設の内、民具展示室は若葉台の歴史資料も合わせ展示保管することが大切であり、2教室分の展示室と資料収蔵室を確保すべきである。したがって、旧西中で展開してはどうか。

<旧若葉台西小>

○公募事業で付帯施設例を実現することはなかなか困難ではないかと思われるが、地域住民としては、この付帯施設例が具体化しなければ若葉台のまちづくりの全体構想にも影響することから、旧西中での展開も含めて柔軟に対応できるようにしておくこと。

○公募事業において施設の売却はできるだけ避けていただきたい。民間事業者がさらに売却した場合など、後々問題になることも考えられる。

<旧若葉台西中>

○総合型地域スポーツクラブの利用施設に格技場も入れること。

○文化・芸術の分野における市民活動の拠点として整備するという基本構想に同意するところであるが、これらの運営にあたっては横浜市が行うと理解して良いか。

→運営については委託等の手法も考えられると思いますが、市の事業として行います。

(横浜市行政運営調整局)



行政提案に対する検討委員会の意見（前頁からのつづき）

■開港150周年記念イベントに関連した旧若葉台西中の暫定利用について

- 開港150周年記念イベントに関連したこのような利用については基本的に賛成である。
- 平日は夜8時から10時までの利用とあるが、子どもの利用を考えると開始時刻・終了時刻とも早めた方がよい。一方、大人の利用時間としてはもう少し柔軟な時間設定でも良いのではないかと。
- イベント終了後も文化・芸術の市民活動の拠点に繋げていけるようなワークショップを運営するという考え方は良い。スムーズに本格利用へと移行することを期待する。

■その他

- 跡地利用にあたっての住民意見には、保育園、宿泊施設、地域作業所、グループホーム、老人ホーム、食堂（会食・配食）などの実現が強く期待されているところである。これらは必ずしも横浜市にやっていただくというよりは場所の有償貸付で対応できると思われるので、そうした利用についても検討していただきたい。
- 跡施設の利用にあたっては、横浜市としても住民の理解を得ながら進めることは良く理解されているところであるが、将来に禍根を残さないように、若葉台のまちづくりの大切な財産として、全体構想や将来を見据えて支援していただきたい。

*今後は、11月までに住民説明会を開催し、
その結果を踏まえて、横浜市に要望書を提出します*

■今後の進め方

- 行政提案について、住民側の付帯意見を明記し、それらを整理した上で、その資料をもとに住民説明会を行います。住民説明会は可能な限り自治会単位で開催するとともに、全体的な説明会も2カ所で開催します。
- 説明会は、各種行事を考慮し、11月までに実施します。
- 説明会の結果を踏まえ、年内に要望書を提出します。
- この段階で現在の検討委員会は解散し、新たな組織を立ち上げて、課題に取り組みます。

■本検討委員会の経過は旭区役所ホームページでもご覧いただけます。

旭区役所ホームページ (<http://www.city.yokohama.jp/me/asahi/>) から
→【まちづくり】 →【若葉台地区小中学校跡地の活用・検討】 とお進みください。

■本検討委員会へのご意見は、ファクスもしくはEメールで、下記事務局までお寄せください。

【若葉台地区小中学校跡地活用検討委員会事務局】
旭区役所区政推進課企画調整係
ファクス：951-3401
Eメール：as-kikaku@city.yokohama.jp
電話：954-6027



次回予定

日時：9月29日（土）16時
場所：若葉台中学校Eホール
議題：住民説明会について、他